

# 公開実用 昭和61-42186

⑩ 日本国特許庁(JP)

⑪ 実用新案出願公開

⑫ 公開実用新案公報(U) 昭61-42186

⑬ Int. Cl.<sup>3</sup>

識別記号

庁内整理番号

⑭ 公開 昭和61年(1986)3月18日

H 04 R 1/10

1 0 3

7314-5D

審査請求 未請求 (全頁)

⑮ 考案の名称 ヘッドホン

⑯ 実 願 昭59-128149

⑰ 出 願 昭59(1984)8月23日

⑱ 考 案 者 柏 原 司 寝屋川市日新町2番1号 オンキヨー株式会社内

⑲ 出 願 人 オンキヨー株式会社 寝屋川市日新町2番1号

## 明 細 書

## 1. 考案の名称

ヘッドホン

## 2. 実用新案登録請求の範囲

一端部にヘッドホンユニット（３）を取り付けた略円弧状ハンガー（８）の他端部に当該ハンガー（８）より径小の略円弧状ヘッドバンド（１）を摺動可能に挿通し、両端部に内方へ突出した係合片（１２ａ）、（１２ｂ）を設けた略コ形スライダー（１１）の側面部の内面に突起（１０）を設け、当該突起（１０）を上記ヘッドバンド（１）の先端部に設けた孔（９）に係合するとともに、上記ハンガー（８）を上記スライダー（１１）内に圧入してなるヘッドホン。

## 3. 考案の詳細な説明

〔産業上の利用分野〕

本考案は、ヘッドホンユニットの位置調節機構を備えるヘッドバンドの取付構造に関する。

〔従来技術〕

従来ヘッドホンは、第３図に示すように、一

端部にヘッドホンユニット（３）を取り付けた円弧状ハンガー（４）の他端部に挿通孔（５）を設け、この挿通孔（５）に円弧状ヘッドバンド（１）を挿通し、上記挿通孔（５）に連通した凹室（６）内に弓状板バネ（７）を装着して、この板バネ（７）を上記ヘッドバンド（１）に弾性圧接することによりハンガー（４）をヘッドバンド（１）に対して摺動可能に、かつ、所定位置に停止可能に取り付け、また、上記ヘッドバンド（１）の先端にストツパー（２）を取り付けた構造を有する。

〔考案が解決しようとする問題点〕

従来構造では、ヘッドバンド（１）とハンガー（４）とを所定位置に停止可能に取り付けるために、板バネ（７）を所定の摩擦力をもつてヘッドバンド（１）に弾性圧接しなければならない、また、ヘッドバンド（１）がハンガー（４）から抜け落ちないために、ヘッドバンド（１）の先端に径大のストツパー（２）を取り付けなければならない。また、ハンガー（４）の内側には人間の頭部

が位置するため、ヘッドバンド（１）はハンガー（４）の外側に配置され、そこで摺動するため、デザイン上、余り好ましいものではなかった。

本考案はこのような従来の問題点を解決することを目的とするものである。

〔問題点を解決するための手段〕

以上のような問題点の解決手段として、本考案では、一端部にヘッドホンユニットを取り付けた略円弧状ハンガーの他端部に当該ハンガーより径小の略円弧状ヘッドバンドを摺動可能に挿通し、両端部に内方へ突出した係合片を設けた略コ形スライダの側面部の内面に突起を設け、当該突起を上記ヘッドバンドの先端部に設けた孔に係合するとともに、上記ハンガーを上記スライダ内に圧入して、ヘッドバンドをハンガーに摺動可能に、かつ、所定位置に停止可能に取り付けた構造がとられる。

〔作用〕

その結果、ハンガーより径小のヘッドバンドには常に内方への弾性復元力が働くので、ハンガー

の外側面はスライダーの係合片内側に一定の圧力をもつて弾性圧接され、したがって、ハンガーとヘッドバンドは一定の摩擦力をもつて摺動可能に、かつ、所定位置に停止可能に取り付けられる。

また、スライダーがハンガーの他端部に当たつてストッパーの役目をするから、ヘッドバンドがハンガーから抜け落ちることがない。

〔実施例〕

第1図および第2図において説明する。図中、第3図の従来例と同等部分については同一符号を付し、その説明は省略する。

(8)は略円弧状ハンガーで、その他端部(8a)にこのハンガー(8)より径小の略円弧状ヘッドバンド(1)が上記ハンガー(8)の内側面に沿つて摺動可能に挿通され、また、ヘッドバンド(1)の先端部に孔(9)が形成される。

(11)は合成樹脂の一体成形品よりなる略コ形スライダーで、その両端部には内方へ突出した係合片(12a)、(12b)が形成され、また、側面部の内面には突起(10)が形成される。



そして、ヘッドバンド（１）をスライダー（１１）内に挿通して、その孔（９）を突起（１０）に係合する。その後、スライダー（１１）をヘッドバンド（１）の弾性力に抗してハンガー（８）方向へ引き寄せ、ハンガー（８）に係合片（１２a）、（１２b）を迫してスライダー（１１）内に圧入する。

〔考案の効果〕

本考案は、ヘッドバンド（１）の内方への弾性復元力によつて、ハンガー（８）の外側面がスライダー（１１）の係合片（１２a）、（１２b）の内側に一定の圧力をもつて弾性圧接されるので、ヘッドバンド（１）とハンガー（８）とが一定の摩擦力をもつて摺動可能に、かつ、所定位置に停止可能に取り付けられ、また、スライダー（１１）がハンガー（８）の他端部に当たつてストッパとしての機能を有するから、従来例に比べて板バネおよびストッパが不要であるばかりでなく、ヘッドバンド（１）がハンガー（８）の内側面に沿つて摺動するから、デザイン的にもシンプ



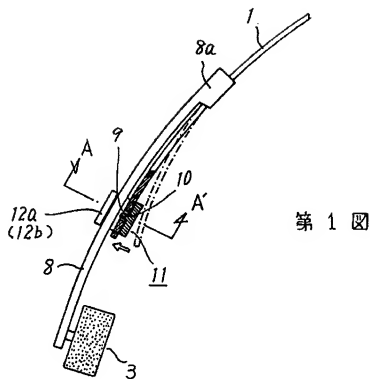
ルで優れたものとなる効果を有する。

#### 4. 図面の簡単な説明

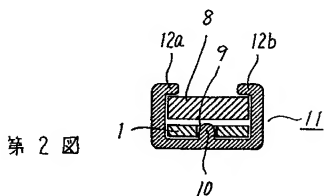
第1図は本考案のヘッドホンの構造を示す図、第2図は同、A～A'端面図、第3図は従来のヘッドホンの構造を示す図である。

(1)はヘッドバンド、(3)はヘッドホンユニット、(8)はハンガー、(9)は孔、(10)は突起、(11)はスライダー、(12a)、(12b)は係合片である。

実用新案登録出願人    オンキヨー株式会社



第 1 図



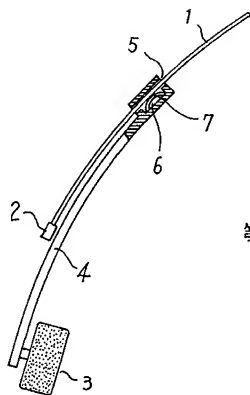
第 2 図

922

実開 42186

実用新案登録出願人 才： 牛田一株式会社





第 3 図

923

実用61-42186

実用新案登録出願人 オンキヨー株式会社